

●艦隊職員條例

明治十七年十月一日（丙一三七）

改正（明治二十一年十一月達一四〇號、二十二年七月二八一號、二十七年十一月一六八號廢止）

【編者註】本條例ハ達乙第十六號ヲ以テ府縣ニ之ヲ達ス
艦隊職員條例

第一條 凡ソ艦隊職員ハ左表ニ掲クルカ如シ其參謀傳令使秘書
秘書補ハ之ヲ司令長官司令次官又ハ司令官屬員ト稱ス

艦隊職員表

大		區別		艦隊	
職名	官等	人員	記	事	
司令長官	大將若クハ中將	一員			
司令次官	中將若クハ少將	一員			
參謀長	大佐	一員			
司令長官參謀	少佐	一員			
	大尉	一員			

ヲ拿捕スルコト能ハス其府知事縣令(東京ニ於テハ警視總監)

ヨリ助力ヲ請求スルトキハ之ニ應ス可シ

第七條 司令長官司令官ハ難船救助ノタメ艦船ヲ要スルトキハ其處置ヲ爲ス可シ

第八條 司令長官司令官ハ麾下ノ艦船ヲ管海外ニ派遣ス可ラス但火急ノ警報アリ已ムコトヲ得サルトキハ派遣スルコトヲ得此場合ニ於テハ速ニ海軍卿ニ報告ス可シ

第九條 司令長官司令官ハ戰時若クハ事變ニ際シ隊中若干艦ノ分遣ヲ要スルトキハ司令次官ヲシテ其指揮ヲ掌ラシムルヲ例トスト雖トモ司令次官在ラサルトキハ臨時先任艦長ヲシテ司令次官ノ職權ヲ行ハシムルコトヲ得但此場合ニ於テハ傳令使

祕書補ノ内適宜ノ人員ヲ先任艦長ニ附屬セシムルモ妨ケナシ第十條 司令長官司令官ハ麾下ニ屬スル測量艦ノ本務及ヒ定規ニ干渉ス可ラス但火急ノ事件アリ之ヲ他ニ使用スルトキハ其旨ヲ海軍卿ニ報告ス可シ

第十一條 司令長官司令官ハ麾下艦船ノ現狀性質竝ニ乗員ノ景況ヲ詳細シ又艦船ヲシテ常ニ整頓準備シ緩急其役務ニ應スルコトヲ得セシム可シ若シ役務ニ適セサルコトヲ發見スルトキハ速ニ海軍卿ニ報告ス可シ

第十二條 司令長官司令官ハ其新補ノ時及ヒ毎年一度麾下ノ艦船ヲ點檢シ又其艦船ヲ外國ニ派遣スル時ハ其發航ノ前ト歸著ノ後トニ之ヲ點檢シ又新ニ艦船ヲ艦隊ニ編入シタル時モ之ヲ點檢シ其詳細ヲ海軍卿ニ報告ス可シ

第十三條 司令長官司令官ハ前條點檢ノ外必要ト思考スルトキハ點檢ヲ行フ可シ

第十四條 司令長官司令官自ラ點檢ヲ行フ能ハサルトキハ司令次官或ハ參謀長又ハ麾下ノ先任艦長ヲシテ代理セシムルコト

ヲ得

第十五條 司令長官司令官ハ麾下ノ艦船ヲシテ課程操練ノ外臨時艦隊運動及ヒ銃砲實地演習ヲ爲サシム可シ

第十六條 司令長官司令官ハ定所外ニ於テ銃砲射的及ヒ上陸操練野營操練等ヲ要スルトキハ其所轄廳若クハ郡區役所ニ協議ス可シ但土地ノ景況及ヒ射的操練等ノ模様ニ依リ協議ヲ要セサルモノハ通知ニ止ルモ妨ケナシ

第十七條 司令長官司令官ハ麾下ノ艦船ヲシテ石炭及ヒ諸物品ヲ節約シ殊ニ航海中ハ成ル可ク帆走セシム可シ

第十八條 司令長官司令官ハ需用物品ノ適否得失及ヒ給與ノ方法ニ意見アルトキハ之ヲ海軍卿ニ具狀ス可シ

第十九條 司令長官司令官ハ需用物品ヲ購買シ又船隻職工ヲ備ヒ若クハ地所倉庫等ヲ借ルコトヲ得ス若シ已ムコトヲ得ス之ヲ行フトキハ其詳細ヲ海軍卿ニ報告ス可シ

第二十條 司令長官司令官ハ麾下艦船ノ艤裝再艤裝及ヒ修理ヲ要スルトキハ成規ニ從フ可シ但外國ニ在ルトキ若クハ至急ヲ要スルトキハ便宜處分スルコトヲ得此場合ニ於テハ速ニ海軍卿ニ報告ス可シ

第二十一條 司令長官司令官ハ麾下ノ艦船ニ傳染病者アルトキハ(電信アル地ハ)速ニ海軍卿ニ報告ス可シ

第二十二條 司令長官司令官ハ麾下艦船ノ所在港及ヒ回航ノ線路地方ヲ其時々海軍卿ニ報告ス可シ

第二十三條 司令長官司令官ハ其所在ノ港ニ外國軍艦碇泊スルトキハ相當ノ禮遇ヲ爲ス可シ但內國ニ於テハ其發著ヲ其時々海軍卿ニ報告ス可シ

第二十四條 司令長官司令官ハ麾下艦船ノ船體汽機兵器船具等ノ變更ヲ要スルトモ思考スルトキハ其利害得失ヲ海軍卿ニ具狀

ス可シ
第二十五條 司令長官司令官ハ麾下艦船ノ准士官以下ヲ轉乘シ及ヒ卒ヲ黜陟スルコトヲ得

第二十六條 司令長官司令官ハ麾下艦隊及ヒ艦船ノ内則ヲ創設改良スルコトヲ得司令長官司令官ノ定ムル命令内則ハ該官既ニ解任スルモ嗣任ノ司令長官司令官之ヲ廢止シ若クハ變更スルニ非サレハ尙ホ効力ヲ有スル者トス

第二十七條 司令長官司令官ハ不在中重大ノ事件ヲ除クノ外通常ノ事務ハ參謀長ニ委任スルコトヲ得

第二十八條 司令長官司令官ハ定例外ノ經費ヲ要シ又ハ水兵諸工火夫ヲ期限内ニ免役スルコトヲ要スルトキハ海軍卿ノ許可ヲ得可シ

第二十九條 司令次官ハ隊中ノ若干艦ヲ統率シ其乘員ヲシテ軍紀風紀ヲ維持シ法律規則ヲ遵守セシメ司令長官ニ對シテ其實ニ任ス

第三十條 司令次官ハ其司令長官ト同港ニ在ルトキハ總テ其指揮ヲ受ク可シ

第三十一條 司令次官ハ第十一條第十五條第十六條第十七條及ヒ第二十三條ニ掲クル事項ハ之ヲ遵守ス可シ但第十一條及ヒ第二十三條ノ報告ハ司令長官ニ送達ス可シ

第三十二條 司令次官ハ第四條第五條第六條第七條第八條第九條及ヒ第二十條ニ掲クル事項ハ臨機之ヲ處分スルコトヲ得此場合ニ於テハ第四條第五條ハ海軍卿竝ニ司令長官ニ報告シ其他ハ司令長官ニ報告ス可シ

第三十三條 司令次官ハ第二十一條第二十二條ノ報告ヲ司令長官ニ送達ス可シ

第三十四條 司令次官ハ麾下艦長ノ上申報告ヲ檢シ司令長官ニ

送達シ又司令長官ヨリノ諸命令ヲ麾下艦長ニ通達ス可シ
第三十五條 參謀長ハ艦隊整理上ニ於テハ司令長官司令官ヲ補助シ專ラ其職務ニ參畫シ參謀秘書機關部長軍醫部長主計部長以下諸員ノ職務ヲ監視ス可シ

第三十六條 參謀長ハ司令長官司令官不在中特ニ委任セラレタル事件ハ司令長官司令官ノ名ヲ以テ命令ヲ出スコトヲ得

第三十七條 司令長官司令次官司令官ノ參謀ハ司令長官司令次官司令官ニ隨從シ參謀長ノ指揮ヲ受ケ艦船ノ現狀外國軍艦ノ勢力沿岸地方ノ形勢ヲ詳知シ水路ノ難易ヲ考究シ司令長官司令次官司令官謀略ノ資ニ供スルヲ任トス又司令長官司令次官司令官ノ信號ヲ掌理ス可シ

第三十八條 司令長官司令官ノ參謀ハ砲銃水雷航海艦體ニ係ル書類ヲ審査シ之ヲ司令長官司令官ニ出ス可シ

第三十九條 司令長官司令次官司令官ノ傳令使ハ司令長官司令次官司令官ノ命令ヲ傳達シ信號ヲ施行スルヲ任トス又司令長官司令次官司令官ノ乘艇ヲ主管シ旗艦ノ艦務ニ服ス可シ

第四十條 司令長官司令次官司令官ノ秘書ハ司令長官司令次官司令官ノ處分ニ係ル文書ノ往復ノ主管ニ屬セサル書類ノ審査官印ノ監守及ヒ書類ノ保存其他一切ノ庶務ヲ掌理ス可シ

第四十一條 司令長官司令次官司令官ノ秘書補ハ秘書ノ命ヲ受ケ文書往復等ノ事務ニ服從ス可シ

第四十二條 機關部長ハ艦隊ノ機關ニ係ル事ヲ監督ス可シ

第四十三條 機關部長ハ艦船ノ機關ニ係ル書類ヲ審査シ若シ意見有ラハ其意見ヲ附シ之ヲ司令長官司令官ニ出ス可シ

第四十四條 機關部長ハ旗艦ノ機關長以下諸員ヲシテ其職務ヲ補助セシムルコトヲ得
第四十五條 軍醫部長ハ艦隊ノ醫務衛生ニ係ル事ヲ監督ス可シ

第四十六條 軍醫部長ハ艦船ノ醫事ニ係ル書類ヲ審査シ若シ意見有ラハ其意見ヲ附シ之ヲ司令長官司令官ニ出スヘシ
第四十七條 軍醫部長ハ旗艦ノ軍醫長以下諸員ヲシテ其職務ヲ補助セシムルコトヲ得

第四十八條 主計部長ハ艦隊ノ會計ニ係ル事ヲ監督ス可シ

第四十九條 主計部長ハ艦船ノ會計ニ係ル書類ヲ審査シ若シ意見アラハ其意見ヲ附シ之ヲ司令長官司令官ニ出スヘシ

第五十條 主計部長ハ艦船ノ定額金豫算外止ムコトヲ得サル臨時費用ヲ要スルトキハ其豫算ヲ調査シ之ヲ司令長官司令官ニ出ス可シ

第五十一條 主計部長ハ旗艦ノ主計長以下諸員ヲシテ其職務ヲ補助セシムルコトヲ得

明治二十一年十一月二十八日(達一四〇)

艦隊職員條例第一條本文中「參謀」ノ二字ヲ刪除シ其表中ノ少尉ヲ大尉ニ改正シ又第三十七條中「司令長官司令次官司令官ニ隨從シ」ノ十五字ヲ刪除シ及該條例中參謀ノ字ノ上ノ司令長官司令次官司令官ノ字ハ總テ刪除ス

明治二十二年七月二十四日(達二八一)

明治十七年十月丙第百三十七號達艦隊職員條例中第一條第二條第三條第四條第五條第六條第八條第九條第二十八條第二十九條第三十條第三十二條及第三十五條以下ノ各條ヲ廢シ他ノ諸條中「司令長官」ノ下ノ「司令官」ノ三字ヲ刪リ「司令次官」ヲ「司令官」ト改ム